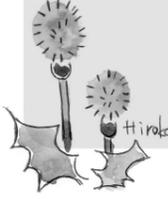


地域活動支援センター

心の病と闘う人々の社会的自立への支援を障がいのある方の居場所や社会的自立を支援する施設として地域活動支援センター(市内11ヶ所、中央区は「まるめろ」など)がありますが、美浜・若葉・稲毛区にはまだ設置されていません。

地域活動支援センターになれば指導員手当など市から補助金が出ますが、主体は社会福祉法人かNPO法人でなければならず、新規のNPO法人は活動実績の審査などで認可まで2年間が必要です。その間は全て自前で年間400万円以上の自己負担が発生します。

こうした社会資源の整備は本来自政の仕事ともいえませんが、NPOに対する低利の資金融資制度や民間の助成金情報を提供するなど、何より障がいのある方々とそれを支える家族に寄り添った対応を求めました。



「脳脊髄液減少症の医療推進に関する意見書」が採択されました

脳脊髄液減少症は、交通事故やスポーツによる外傷などによって脳脊髄液が漏れることで引き起こされ、誰でもなり得る病気です。

頭痛や全身倦怠感・めまいなどさまざまな症状で日常生活に支障をきたしますが、認知度が低い為、病気なのに怠慢等の批判を受け、苦しんでいる患者も多くいます。唯一の治療法とされているブラッドパッチ療法は医療保険の適用対象外です。

脳脊髄液減少症の認知を進め、診断及び治療の確立を早期に実現するよう、国に要望しました。

視察報告 (北海道伊達市・浦河町)

だて地域生活支援センター

障がいを持つ人が施設から地域へ移行するための支援施設として、S.48年に通勤センター(寮)ができたことをきっかけに、多くの障害者が地域で暮らし就労している。グループホームやケアホーム、民間アパートなどに住んで、企業や作業所、授産施設に通う利用者は約390名もおり、そのためのさまざまなサポートを行っている。



スタッフは、農協やホテルなどを足繁く訪問して仕事を開拓しているそうだ。特に産業がある町ではないのに多くの障がい者が就労しているのに驚いた。仕事から帰る様子を町のあちこちで見かけたが、住民がそれをあたりまえに受けとめ、町に溶け込んで暮らしている様子はなんとも温かく、長い取り組みの中で培われたものなのだろうと感じた。

べてるの家

1978年、浦河赤十字病院の精神科患者が、浦河教会で担当医とともに生活をしながら日高昆布の販売などの起業を通じて自立を目指すなかから誕生した。病気が重くなったり、生活に支障が出てくることをごく普通のこととして捉え、弱さを隠さず出し合うことで互いに受け止めあい、あるがままを受け入れるのがべてる流の生き方。

案内して下さった秋山さんも当事者で、病気と付き合いながらスタッフとして働いている。「考え方が新鮮でパワーがもらえる」と、年間2500人もの見学者と、多くの利用希望者があるそうだ。



ファミリーサポート

ファミリーサポートは、子育て協力依頼者とお手伝い提供者をつなぐ事業で、生後3ヶ月から小学6年生までが対象です。

保育所や幼稚園、学童保育のお迎えや帰宅後の預かりの依頼が最も多いそうです。仕事を持つ保護者には頼りになる制度ですが、ひとり親家庭の利用は全体の15%程度にとどまっています。利用料がネックで利用を抑える現状から、母子家庭や生活保護世帯への利用料の減免制度を作るよう求めました。



アトリウム福祉ショップ

本年2月、カフェ・バルコニーの家が始まりました。心の病と闘いながら自立を目指し、自活できる力を得、地域で社会人として暮らしていくことを理想としています。資金難からやむなく発起人の自宅を活動の場としています。

町には一人暮らしの高齢者が多くなりました。茶の間にお招きし、希望者は有料でお昼や手作り和菓子と飲み物も召し上がっていただくことができます。

11月からは、月2回きぼーるアトリウムでお店も出せるようになりました。

「社会に適応しづらい人が、社会に出て行く訓練の場」としていますが、社会に適応しづらい人はどこにでもいます。メンバーが自炊もでき、親から離れて自立できるようになることが夢です。どうぞ応援して下さい。

代表 藪下 敦子(美浜区磯辺)

子育てアンケート結果

子育て支援アンケート (通信 No43 掲載)

1. 仕事と子育て両立で困ったこと (ある14、ない2)

頼れる祖父母等がない 6

保育所探し 2

子どもが病気 12

意見 祖父母がいても頼めない状況がある。社会全体で支援する体制を作してほしい。

預けるとお金がかかって大変。

保育所にすぐ入れるようにしてほしい。

子どもの看護休暇をもっと長くしてほしい。

子どもが病気の時休むと会社に迷惑、クビになる不安もあった。

2. ファミリーサポートセンター (知っている13、知らない4)

利用したことが (ある1、ない12)

意見 登録していても条件に合う人がみつからない。

高額

3. 病児保育所 (知っている13、知らない4)

利用したことが (ある1、ない13)

意見 定員がすぐにいっぱい、未だ利用できない。

家から遠い。

8時~18時では、利用が困難。もっと早く開園し、遅くまで対応してほしい。

ご協力ありがとうございました。

(返信 20)

保育所で聞いてみました。

急な発熱時の対応は?

- ・38度になったら親に連絡している
- ・本当は迎えにきてほしいが・・・様子を見てその後も状況を連絡する
- ・何度も電話すると会社に気兼ね・・・
- ・保育所で見てほしいという声があるが・・・

病児保育所について

- ・できて助かっている
- ・インフルエンザの時は預けられない
- ・1人親には料金の2000円は高い

働くことと子育てを両立しやすいまちにするためにネットでは

病時保育施設の数を増やしたり、料金や開所時間について今後、病時保育に携わっておられる小児科医の先生の話や利用者の声を聞きながら、改善に向けて提案していきます。



料金受取人払郵便

千葉支店

承認

334

差出有効期限

平成24年10月

31日まで

(切手不要)

郵便はがき

2 6 0 8 7 9 0

千葉市中央区中央 3-13-17

市民ネットワーク・中央 行



①南部青少年センターを利用したことがありますか
(本人:ある・ない / 子ども:ある・ない)
・どんなことで利用しましたか

②南部児童文化センターを利用したことがありますか
(本人:ある・ない / 子ども:ある・ない)
・何に利用しましたか

お名前 _____ TEL _____

ご住所 _____

そのままでも届きますが、切手を貼ってくださると助かります。

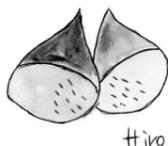
(FAXで送信いただいても結構です。FAX 223-7880)

お知らせ

◆市民法律相談(弁護士による相談)

毎月第2土曜日午後1時~4時 市民ネットワークちば5F事務所

申込み TEL043-201-2551 FAX043-223-7701



hiroko